

第2節 予防対策

1 感染症

(1) 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

① 1～3類感染症の発生状況

A. 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	—	—	—	—	—
2類	急性灰白髄炎	患者等	—	—	—	—	—
	ジフテリア	患者等	—	—	—	—	—
	重症急性呼吸器症候群	患者等	—	—	—	—	—
	結核	患者等	70	65	72	38	58
2類感染症 小計			70	65	72	38	58
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	4	4	35	4	6
		無症状病原体保有者	5	10	30	—	3
	コレラ	患者等	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	患者	—	1	—	1	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
	腸チフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
	パラチフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
3類感染症 小計			9	15	65	5	9

※平成27年1月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、2類感染症に「中東呼吸器症候群」及び「鳥インフルエンザ (H7N9)」が追加された。

B. 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	平成28年										平成29年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2類	結核	5	6	6	6	7	3	3	5	4	7	5	1	58	
	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ジフテリア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	—	—	2	2	—	4	—	1	—	—	—	—	9	
	コレラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	腸チフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	パラチフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		5	6	8	8	7	7	3	6	4	7	5	1	67	

② 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				施設数
		医療機関	高齢者施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	—	—	6	—	6
感染性胃腸炎	ロタウイルス	—	—	4	—	4
感染性胃腸炎	その他・不明	—	—	12	—	12
インフルエンザ	インフルエンザウイルス	3	7	—	1	11

③ 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

1) 感染症対策従事者研修会（学校・社会福祉施設対象）

テーマ	集団生活における感染予防対策 ～日常生活における対策の見直し～
日時	平成 28 年 8 月 22 日 10:00～11:30 平成 28 年 8 月 29 日 14:00～15:30
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	大津赤十字病院 前田 朋美 氏・奥田 円 氏（感染管理認定看護師）
参加者数	計 94 人

感染症対策従事者研修会（医療従事者対象）

テーマ	予防接種の考え方 ～B型肝炎定期接種に向けて～
日時	平成 28 年 9 月 29 日 15:00～16:00
対象者	市内の医療・保健関係者
講師	名鉄病院予防接種センター 宮津 光伸 氏（医師）
参加者数	58 人

当課で企画している研修会以外にも、団体より依頼のあった研修会に講師として出動している。

2) 感染症対策出前研修会

テーマ	施設における感染予防について
内容	・集団生活の中で注意すべき感染症について ・標準予防策
対象施設	高齢・障害福祉施設（通所及び入所型）
講師	感染症対策担当職員
出前施設数	31 施設
参加者数	計 401 人

3) 感染症対策実務担当者連絡会議

ア. 医療機関対象

内容	講座「薬剤耐性菌の感染対策」 講師：大津市民病院 感染管理認定看護師 横谷 恵 氏 情報交換「各病院における感染症対策について」
日時	平成 28 年 12 月 12 日 15:00～17:00
対象者	市内病院感染管理看護師・感染症対策担当者
参加者数	13 人

イ. 高齢・障害福祉施設対象

内容	講座「社会福祉施設で注意すべき感染症と予防対策」 講師：地域医療機能推進機構滋賀病院 感染管理認定看護師 長谷川 亜紀 氏 情報交換「各施設における感染症対策について」
日時	平成 29 年 2 月 13 日 14:00～16:00
対象者	市内高齢・障害福祉施設（入所型）の感染症対策担当者
参加者数	21 人

(2) 感染症危機管理対策

- ①高病原性鳥インフルエンザ人の健康観察実施マニュアルに基づき、保健所職員の訓練を実施した。
また、エボラ出血熱患者発生時に備え、大津市民病院と合同搬送訓練を行った。

開催日	参加者 (人)	内容
平成 28 年 10 月 17 日	保健所職員 6 人	・高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・健康観察及び防護服着脱演習
平成 28 年 10 月 18 日	保健所職員 10 人	・高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・健康観察及び防護服着脱演習
平成 29 年 2 月 10 日	保健所職員 大津市民病院職員 25 人	・アイソレーターを用いての患者搬送訓練 ・防護服の着脱演習

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生予防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況 (単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	合計
			一般	退職					
	本人	家族		本人	家族				
前 年 末 数	-	-	-	-	-	1	-	-	1
新規承認数	3	-	2	-	-	15	1	-	21
解 除 数	3	-	2	-	-	14	1	-	20
本 年 末	-	-	-	-	-	1	-	-	1

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（平成28年1月～12月末）。

(2) 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況 (延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	無保険	合計
			一般	退 職						
	本 人	家 族		本人	家族					
申 請	21	3	17	2	-	32	3	-	-	78
承 認	21	3	17	2	-	32	3	-	-	78
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の95%に相当する額を公費負担するもの（平成28年1月～12月末）。

(3) 結核新登録状況

新登録患者状況（年齢階級別）

(単位：人)

年齢	新登録患者		活動性結核							潜在性結核感染症（別掲）
			活動性肺結核						肺外結核	
	患者数	罹患率	総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				初回治療	再治療	計				
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
30～39歳	1	2.4	-	-	-	-	-	1	-	-
40～49歳	3	5.6	-	-	-	-	-	2	1	3
50～59歳	3	7.1	2	1	-	1	-	1	1	1
60～69歳	8	16.5	7	3	-	3	2	2	1	4
70歳以上	23	39.5	11	5	2	7	2	2	12	5
合 計	38	11.1	20	9	2	11	4	8	15	14

(平成28年1月～12月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況 (年齢階級別)

(単位:人)

区分	登録患者		活動性結核								有病率 (人口 10万対)	不活動性 結核	不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)
	登録 者数	登録率 (人口 10万対)	活動 性 結 核 総 数	活動性肺結核					肺 外 結 核					
				登録時喀痰塗抹 陽性			登録時その 他の結核 菌陽性	その 他						
				肺 結 核 総 数	初 回 治 療	再 治 療				計				
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	1	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
30～39歳	4	9.7	1	1	-	-	-	-	1	-	2.4	-	3	4
40～49歳	9	16.9	3	2	-	-	-	-	2	1	5.6	2	4	10
50～59歳	8	18.8	1	1	1	-	1	-	-	-	2.4	6	1	8
60～69歳	15	31.0	7	6	2	-	2	2	2	1	14.5	6	2	7
70歳以上	61	105.0	18	9	4	1	5	3	1	9	31.0	27	16	7
合計	98	28.6	30	19	7	1	8	5	6	11	8.8	42	26	43

(平成28年12月末現在)

(5) 結核登録除外状況

(単位:件)

区分	死亡		観察不要	転出	転症	計
	結核	その他				
大津市	3	10	37	1	0	51

(平成28年1月～12月末)

(6) 結核患者保健指導 (平成28年)

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。

対象者 (新規登録者): 52人

実施方法及び件数: 訪問 27件、来所 23件、電話2件

(7) DOTS (直接服薬確認療法) 事業 (平成28年度)

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。

対象者: 62人

実施方法及び件数 (延べ): 訪問 132件、電話 82件、来所 56件、手紙97件、その他26件

(8) 接触者健康診断 (平成28年度)

結核患者の発生届けを受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について法律第17条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数: 223人、受診者総数 220人 (職場健診等他機関実施分3人含む)、受診率: 98.7%

健診結果: 異常なし 208人、潜在性結核感染症 11人、肺結核 1人

区分		保健所 実施分	医療機関 委託分
受診者数 (実人数)		263	15
内 訳 (※)	胸部エックス線検査	52	7
	ツベルクリン反応検査	2	2
	IGRA 検査	221	10
	喀痰検査	-	-

単位: 件

※検査項目の

重複実施あり

3 特定感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「特定感染症検査等事業実施要綱」に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、早期発見及びまん延防止のため、性感染（梅毒）検査、HTLV-1検査、HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

(1) 相談数

(単位：件)

区 分		来所（検査時も含む）	電話	合計	
梅毒	男	327	0	327	
	女	133	1	134	
HIV	男	329	3	332	
	女	133	1	134	
	相談内容延件数（単位：件）		815	27	842
	相談内容	症状について	146	8	154
		検査について	226	6	232
		感染経路	112	8	220
		予防方法	179	3	182
患者発生状況		12	0	12	
その他	40	2	42		
HBV	男	252	0	252	
	女	95	3	98	
HCV	男	251	0	251	
	女	91	1	92	
HTLV-1	男	6	0	6	
	女	6	0	6	

(2) 特定感染症検査実施状況

【検査日時】

毎月第2・4火曜日 13:30～15:00 計24回

即日検査（梅毒、HIV抗体、B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査）

毎月第2火曜日 16:00～16:30 計12回

通常検査（HTLV-1抗体検査）

○検査受検者数

(単位：人)

区 分		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
梅毒	男	1	55	49	37	21	163
	女	6	23	20	13	4	66
HIV	男	1	54	49	37	22	163
	女	6	23	20	13	4	66
HBV	男	1	55	48	37	20	161
	女	6	23	20	12	4	65
HCV	男	1	55	48	36	20	160
	女	6	22	20	13	4	65
HTLV-1	男	-	-	1	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-

(3) HIV普及啓発事業

HIV・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内店舗の協力や大学との連携により啓発活動を行っている。

○HIV検査普及週間関連イベント（平成28年6月1日～6月7日）

協力店舗（コンビニエンスストア等）20店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：2,000部

京阪電車へのポスター掲示

○おおつ健康フェスティバル

啓発コーナーの設置

○世界エイズデー関連イベント（平成 28 年 12 月 1 日～12 月 7 日）

市内大学や専門学校に啓発資材を設置

啓発資材配布数：1,500 部

京阪電車へのポスター掲示

○啓発ポスターの作成、掲示依頼

34 機関（大学・専門学校：12 病院：15 公共施設：7）

（４）緊急肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎のハイリスク者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象として、指定医療機関において肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

○受検者数

（単位：人・件）

区 分	実人数	検査種別（延べ件数）	
		HBs	HCV
受検者数	0	0	0

（５）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

○申請受付状況

（単位：件）

種別・性別	年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
B型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	1	-	-	-	-	-	-	1
C型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロン 治療 計	男	-	1	-	-	-	-	-	-	-1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	1	-	-	-	-	-	-	1
C型肝炎 インターフェロンフリー 治療	男	-	1	1	5	16	13	4	10	50
	女	-	-	1	5	11	26	27	13	83
	計	-	1	2	10	27	39	31	23	133
B型肝炎 核酸アナログ製剤 治療	男	-	-	4	25	36	44	17	1	127
	女	-	-	2	7	15	14	13	-	51
	計	-	-	6	32	51	58	30	1	178
インターフェロン治療 インターフェロンフリー 治療 核酸アナログ製剤治療 合計	男	-	2	5	30	52	57	21	11	178
	女	-	-	3	12	26	40	40	13	134
	計	-	2	8	42	78	97	61	24	312

（６）肝炎重症化予防推進事業申請受付

平成 28 年度より滋賀県からの委託を受けて、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業（B型、C型）に係る初回精密検査、定期精密検査の費用助成の申請受付を行っている。申請者には今年度より定期検査の受診状況や体調等を確認するフォローアップも実施する予定である。

○申請受付状況 (単位：件)

	28
初回検査	5
定期検査	-

(7) 風しん抗体価検査

先天性風しん症候群の予防のため、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出し予防接種の勧奨を行うことを目的に、平成26年度より無料で実施している。

○風しん抗体検査実施状況

(単位：人)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0	102	167	28	1	2	300
女	1	134	136	14	2	3	290
合計	1	236	303	42	3	5	590

4 予防接種

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第5条に基づき各種予防接種を実施している。

平成25年度よりヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンが、平成26年10月より水痘、高齢者肺炎球菌が、平成28年10月よりB型肝炎が定期予防接種に追加された。また、先天性風しん症候群の予防を目的として、平成25年度より予防接種について費用助成を行っており、さらに定期予防接種の対象とならない平成27年10月2日から平成28年3月31日までに生まれた者に対して、平成28年10月1日から満1歳に至るまでに接種したB型肝炎予防接種についての費用助成を行った。(1) 定期接種予防接種者数

① ポリオ (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
27	11	39	65	293	408
28	4	27	31	144	206

② 四種混合 (百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ) (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
27	2,925	2,958	2,954	3,002	11,839
28	2,796	2,827	2,865	3,109	11,597

③ 三種混合 (百日咳・ジフテリア・破傷風) (単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
26	6	8	16	582	612
27	-	-	-	9	9
28	-	-	-	-	-

※四種混合ワクチンへの切り替えに伴い、平成26年12月三種混合ワクチンの製造が中止された。

④ BCG (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
26	3,019	2,968	98.3
27	2,887	2,934	101.6
28	2,807	2,880	102.6

※平成25年度より、対象者が生後12か月に至るまでの者に引き上げられた。

⑤ 日本脳炎 (単位：件・%)

年度	I 期 (初回接種)				I 期 (追加接種)			II 期 (追加接種)			延べ接種者数
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率	
		1 回目	2 回目								
26	3,219	3,735	3,550		3,236	3,817		3,290	1,452		12,554
27	3,069	3,320	3,279		3,185	3,138		3,183	1,875		11,612
28	3,114	3,308	3,224		3,080	3,431		3,375	3,077		13,040

※1. 接種率は特例対象者がいるため出していない。

※2. 平成17年5月30日より、平成22年3月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※3. 平成22年度より、3歳児の接種勧奨を再開。

※4. 平成23年5月20日より、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた者を特例対象者として、接種年齢が緩和された。

※5. 平成25年度より、平成7年4月2日から平成7年5月31日までに生まれた者も特例対象者に追加された。

⑥ 二種混合（ジフテリア・破傷風）（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
26	3,450	2,817	81.7
27	3,437	2,693	78.4
28	3,284	2,855	86.9

⑦ 麻しん・風しん（単位：件・％）

年度	第1期			第2期				
	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率		
26	3,105	麻風混合	3,026	97.5	3,245	麻風混合	3,124	96.3
		麻しん	1			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	
27	2,986	麻風混合	2,883	96.6	3,226	麻風混合	3,110	96.4
		麻しん	-			麻しん	2	
		風しん	-			風しん	-	
28	3,008	麻風混合	2,942	97.9	3,200	麻風混合	3,068	95.9
		麻しん	3			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	

※平成25年度からは経過措置が終了しているため、第3期及び第4期を廃止した。

⑧ 水痘（単位：件）

年度	1回目	2回目	合計
27	3,104	3,319	6,423
28	2,939	2,764	5,703

※平成26年10月から水痘予防接種が定期接種化された。

⑨ ヒブ（単位：件）

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
27	2,934	2,928	2,929	2,935	11,726
28	2,790	2,779	2,826	2,958	11,353

⑩ 小児用肺炎球菌（単位：件）

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
27	2,935	2,939	2,935	2,955	11,764
28	2,794	2,783	2,829	2,961	11,367

⑪ HPV（単位：件）

年度	接種者			合計
	1回目	2回目	3回目	
27	10	10	11	31
28	12	11	8	31

※平成25年6月から接種勧奨を差し控えた。

⑫ B型肝炎（単位：件）

年度	接種者			合計
	1回目	2回目	3回目	
28	2,093	1,830	543	4,466

※平成28年10月から定期接種化された。

⑬ 高齢者インフルエンザ (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
26	78,786	39,039	49.6
27	81,948	39,398	48.1
28	85,028	41,638	49.0

⑭ 高齢者肺炎球菌 (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
27	16,958	8,382	49.4
28	18,049	9,903	54.9

※平成 26 年 10 月から定期接種化された。平成 30 年度までは、経過措置として、各年度内に 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳となる者を対象として実施することとしている。

(2) B型肝炎任意予防接種費用助成

年度	助成件数
28	1,103

※平成 27 年 10 月 2 日から平成 28 年 3 月 31 日までに生まれた者に対して、平成 28 年 10 月 1 日から満 1 歳に至るまでに接種した予防接種についての費用助成を実施した。

(3) 風しん任意予防接種費用助成

年度	助成件数
27	181
28	195

※平成 25 年より、全国的に風しんが流行したため、費用助成を実施している。

5 特定医療費（指定難病）

当該事業は、滋賀県が主体として実施する特定医療費（指定難病）支給認定事業であり、これにかかる受給者証の申請受付事務を県からの委託により本市が実施している。

平成27年1月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、従来の特定疾患の多くが当該事業に移行されたところである。

（1）特定医療費（特定疾患含む）医療受給者証申請受付数

（平成29年3月31日現在）（単位：件）

新規申請数	更新申請数
459	2,504

（2）特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数（平成29年3月31日現在）

（単位：件）

番号	病名	交付者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1
2	筋萎縮性側索硬化症	23
3	脊髄性筋萎縮症	5
4	原発性側索硬化症	0
5	進行性核上性麻痺	27
6	パーキンソン病	386
7	大脳皮質基底核変性症	11
8	ハンチントン病	7
9	神経有棘赤血球症	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2
11	重症筋無力症	67
12	先天性筋無力症候群	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	52
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	14
15	封入体筋炎	1
16	クロウ・深瀬症候群	0
17	多系統萎縮症	42
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	58
19	ライソゾーム病	1
20	副腎白質ジストロフィー	0
21	ミトコンドリア病	1
22	もやもや病	43
23	プリオン病	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0
25	進行性多巣性白質脳症	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1
27	特発性基底核石灰化症	0
28	全身性アミロイドーシス	8
29	ウルリッヒ病	0
30	遠位型ミオパチー	0
31	ベスレムミオパチー	0
32	自己食空胞性ミオパチー	0

（単位：件）

番号	病名	交付者数
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
34	神経線維腫症	8
35	天疱瘡	11
36	表皮水疱症	0
37	膿疱性乾癬（汎発型）	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1
39	中毒性表皮壊死症	1
40	高安動脈炎	11
41	巨細胞性動脈炎	4
42	結節性多発動脈炎	10
43	顕微鏡的多発血管炎	14
44	多発血管炎性肉芽腫症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7
46	悪性関節リウマチ	20
47	バージャー病	13
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4
49	全身性エリテマトーデス	143
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	58
51	全身性強皮症	52
52	混合性結合組織病	26
53	シェーグレン症候群	7
54	成人スチル病	7
55	再発性多発軟骨炎	2
56	ベーチェット病	44
57	特発性拡張型心筋症	130
58	肥大型心筋症	13
59	拘束型心筋症	1
60	再生不良性貧血	30
61	自己免疫性溶血性貧血	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	76
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0

(単位：件)

番号	病名	交付者数
65	原発性免疫不全症候群	4
66	IgA 腎症	29
67	多発性嚢胞腎	30
68	黄色靱帯骨化症	8
69	後縦靱帯骨化症	81
70	広範脊柱管狭窄症	18
71	特発性大腿骨頭壊死症	48
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	3
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	1
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	6
75	クッシング病	3
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7
78	下垂体前葉機能低下症	35
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1
80	甲状腺ホルモン不応症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
82	先天性副腎低形成症	0
83	アジソン病	0
84	サルコイドーシス	58
85	特発性間質性肺炎	26
86	肺動脈性肺高血圧症	15
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
88	慢性血栓性肺高血圧症	7
89	リンパ脈管筋腫症	1
90	網膜色素変性症	52
91	バッド・キアリ症候群	3
92	特発性門脈圧亢進症	0
93	原発性胆汁性肝硬変	50
94	原発性硬化性胆管炎	1
95	自己免疫性肝炎	10
96	クローン病	126
97	潰瘍性大腸炎	569
98	好酸球形消化管疾患	2
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1

(単位：件)

番号	病名	交付者数
107	全身型若年性特発性関節炎	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
110	ブラウ症候群	0
111	先天性ミオパチー	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	4
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2
116	アトピー性脊髄炎	2
117	脊髄空洞症	1
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	0
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側頭葉てんかん	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	0
145	ウエスト症候群	0
146	大田原症候群	1
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0

(単位：件)

番号	病名	交付者数
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	P C D H 19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0
158	結節性硬化症	1
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	6
163	特発性後天性全身性無汗症	0
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	0
168	エーラス・ダンロス症候群	1
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	2
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	有馬症候群	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	A T R - X 症候群	0
181	クルーゾン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ピクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0

(単位：件)

番号	病名	交付者数
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1 p 36 欠失症候群	0
198	4 p 欠失症候群	0
199	5 p 欠失症候群	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2 欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱 X 症候群関連疾患	0
206	脆弱 X 症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	0
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	0
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
215	ファロー四徴症	1
216	両大血管右室起始症	0
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	13
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
224	紫斑病性腎炎	1
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3
227	オスラー病	2
228	閉塞性細気管支炎	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0
230	肺胞低換気症候群	0
231	α 1 - アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0

(単位：件)

番号	病名	交付者数
233	ウォルフラム症候群	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	0
239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	1
241	高チロシン血症 1 型	0
242	高チロシン血症 2 型	0
243	高チロシン血症 3 型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	1
249	グルタル酸血症 1 型	0
250	グルタル酸血症 2 型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳髄黄色腫症	0
264	無βリポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	0
266	家族性地中海熱	0
267	高IgD症候群	0
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0

(単位：件)

番号	病名	交付者数
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
271	強直性脊椎炎	4
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	1
277	リンパ管腫症／ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンコニ貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性出血病 XIII	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
291	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	1
297	アラジール症候群	0
298	遺伝性膀胱炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	3
301	黄斑ジストロフィー	1
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	1
306	好酸球性副鼻腔炎	39
合 計		2,753

(3) 特定疾患医療受給者証交付件数(平成29年3月31日現在)

(単位:件)

番号	病名	交付者数
5	スモン	6
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	0
32	重症急性膵炎	0
54	重症多形滲出性紅斑	0
	合計	6

6 難病支援

難病支援対策推進事業

当該事業は、国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の適切な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質(QOL)の向上に資することを目的として実施している。

(1) 特定疾患（平成27年1月より指定難病を含む）申請時面接相談 (単位：件)

新規申請者数	新規申請時面接相談	更新申請者数	更新申請時面接相談
459	443	2,504	1,475

(2) 難病患者訪問指導及び面接相談 (単位：件)

	訪問指導		面接相談	
	実人数(人)	延べ件数(件)	実人数(人)	延べ件数(件)
筋萎縮性側索硬化症	16	42	19	37
その他の難病	29	37	72	87
計	45	79	91	124

(3) 医療講演会及び相談会

① 医療講演会（草津保健所と合同開催）

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成29年1月26日 大津市保健所 大会議室	患者 6人 家族 2人 支援者 1人 計 9人	講演：「全身性エリテマトーデスの理解と療養について」 講師：川端 大介 医師 (おうみりウマチ膠原病・内科クリニック 院長)
平成29年3月5日 草津市立市民交流プラザ サ 中会議室	患者 3人 計 3人	講演：「腎臓（難病）医療講演会」 講師：門 浩志 医師 (近江八幡市立総合医療センター 腎臓センター長)

② パーキンソン病医療講演会・従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成28年9月27日 大津市役所新館 大会議室	患者 22人 家族 19人 介護支援専門員 32人 介護職 9人 看護師 1人 管理者 2人 支援相談員 1人 鍼灸師 2人 計 88人	講演：「日常生活を暮らしやすくするために～暮らしの中でできる工夫とリハビリテーション～」 講師：中馬 孝容 医師 (滋賀県成人病センター)

(4) 難病従事者研修会

① 難病在宅支援従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成28年6月23日 大津市役所新館7階 大会議室	介護支援専門員 90人 介護職 2人 看護師 2人 他 14人 計 108人	講演：「難病患者が利用できる医療・介護・障害福祉サービスについて」 講師：大津市役所 介護保険課 野田主幹 長寿政策課 廣瀬主査 障害福祉課 上田課長補佐 保健予防課 淀主査・池田
平成28年12月4日 大津市保健所 大会議室	介護支援専門員 39人 看護師 2人 他 2人 計 43人	講演：「支援者のジレンマとストレスマネジメント」 講師：田村 祐樹 医師 (彦根市立病院緩和ケア科)

② 難病患者災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 28 年 8 月 22 日 明日都浜大津 4 階 ふれあいプラザ 中会議室	介護支援専門員 15 人 訪問介護員 3 人 看護師 3 人 その他 1 人 保健師 41 人 計 83 人	講演・グループワーク テーマ：災害に備えて～平時から取り組めること～ 講師：奥田 博子 先生 (国立保健科学院健康危機管理研究部 上席 主任研究官)

(5) ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、多機関でチーム支援を必要とするケースに対して関わる地域スタッフとともに支援方法について検討した。年 25 回実施（ALS15 回、その他難病 10 回）実 18 人（ALS10 人、その他難病 8 人）参加者：延 204 人

(6) ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族の QOL の向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を 2 回開催した。

○ALS 患者の移乗方法、福祉用具の活用について検討

アドバイザー：大津市保健所保健総務課 西山 直樹（理学療法士）

○ALS 患者の視線入力装置を用いた意思疎通について検討

アドバイザー：NPO 法人支援機器普及促進協会 理事長 高松 崇

(7) 在宅療養支援体制の整備に関する事業

難病対策地域協議会

開催日・場所	出席者	内 容
平成 29 年 3 月 16 日 大津市保健所 大会議室	重症難病医療拠点・協力病院等関係機関 30 人/33 人	<ul style="list-style-type: none"> ・指定難病の申請状況について ・難病患者の相談状況について ・在宅療養支援について ・難病患者地域支援事業について ・災害時支援対策について ・その他

(8) 各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、同会の活動内容を紹介した。

② ケアクラフト 002（自助具工房）活動支援

特定疾患更新申請時に各会場で自助具の展示コーナーを設置し、自助具や活動内容の紹介等を行った。また、パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、自助具の展示コーナーを設けた。

7 精神保健

(1) 精神保健福祉対策

保健所は、地域精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害者の早期治療や社会復帰を支援するため、専門医・心理士・保健師による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、精神障害者の家族教室等の事業を行っている。

① 精神障害者保健福祉手帳の申請交付状況

(単位：件)

区分	1級	2級	3級
18歳以上	168	1,525	543
18歳未満	4	17	11
計	172	1,542	554
		2,268	

年次推移

(単位：件)

等級	H24	H25	H26	H27	H28
1級	152	163	169	153	172
2級	1,098	1,192	1,269	1,400	1,542
3級	435	463	500	520	554
計	1,685	1,818	1,938	2,073	2,268

② 通院医療費公費負担状況

(単位：延べ件)

区分	計		20歳未満		20～29歳		30～39歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	2,254	2,356	194	88	265	258	376	442
	4,610		282		523		818	

区分	40～49歳		50～59歳		60～64歳		65歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	611	585	436	465	142	156	230	362
	1,196		901		298		592	

(2) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害を持つ人及び家族に対して、正しい知識を提供するとともに、本人及び家族が早期に適切な対処ができるよう支援することを目的として、専門医や保健師による相談を実施している。

(単位：件)

区分	相談、デイケア、訪問指導				相談(再掲)								
	実人員	新規者の受付経路			実人員	延 人 員							
		市町	医療機関	その他		社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計
男	151	9	7	31	124	-	26	46	4	23	129	323	551
女	117	8	9	20	90	-	4	-	-	-	106	214	324
計	268	17	16	51	214	-	30	46	4	23	235	537	875

区分	デイケア(再掲)		訪問指導(再掲)									電話相談(含メール)延人員
	実人員	延人員	実人員	延 人 員								
				社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計	
男			71	-	9	27	-	22	15	122	195	
女			60	-	11	-	-	5	22	93	131	
計			131	-	20	27	-	27	37	215	326	3,661

① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	-	-	-	-	-	-
家族	-	-	1	3	1	5	-	10
保健師、福祉	-	-	1	-	-	4	-	5
その他	-	-	-	-	-	1	-	1
合計	-	-	2	3	1	10	-	16

B. 相談者別、本人の受療状況

（単位：人）

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	-	-	-	-
家族	7	1	2	10
保健師、福祉	3	1	1	5
その他	-	1	-	1
合計	10	3	3	16

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
統合失調症	-	-	-	1	-	2	-	3
神経症	-	-	1	-	-	-	-	1
アルコール依存症疑	-	-	-	1	-	2	-	3
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-	2	-	2
妄想性障害	-	-	-	1	-	2	-	3
感情障害	-	-	-	-	-	-	-	-
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	4	-	4
発達障害	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	1	1	1	-	-	3
合計	-	-	2	4	1	12	-	19

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	10
主治医に相談	-
対応指導	7
その他	-
合計	17

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
本人	-	2	4	1	7
家族	-	3	2	-	5
保健師、福祉	-	2	-	-	2
その他	-	-	-	-	-
計	-	7	6	1	14

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	5	-	2	7
家族	4	-	1	5
保健師、福祉	1	1	-	2
その他	-	-	-	-
計	10	1	3	14

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	12
未就労	-
不登校・進路	-
暴力	-
強迫症状	-
パニック	-
その他	2
計	14

D. 相談医の指示の内容

項目	件数
要医療、受診指導	1
主治医に相談	3
対応指導	10
その他	-
合計	14

D. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
統合失調症疑	-	-	1	-	1
社会的ひきこもり	-	2	-	-	2
広汎性発達障害疑	-	3	4	1	8
強迫性障害	-	-	-	-	-
摂食障害	-	-	-	-	-
うつ状態	-	1	-	-	1
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-
その他	-	3	1	-	4
計	-	9	6	1	16

③ ひきこもり心理相談

思春期相談で社会的ひきこもりや発達障害疑いと判断され、本人・家族に対して継続的な相談が必要なケースについて、月1回、定例で臨床心理士による面接を実施している。

実施状況：12回 延べ30件（うち電話8件を含む） 実人数5人

④ 定例ケース検討会開催状況

目的：精神障害者への個別支援を行うに際して処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの検討を行い支援者が対応の方向性を明らかにする機会とする。

開催状況：6回

助言者：精神保健福祉センター 地区担当医 精神保健福祉士 臨床心理士 保健師

(単位：件)

開催回数		6
検討延べ件数		9
相談 経路	保健所の保健師	4
	健康推進課・すこやか相談所の保健師	1
	あんしん長寿相談所のスタッフ	3
	学校の教師	-
	児童相談所・子ども家庭相談室の相談員	-
	障害者相談支援事業所の相談員	-
	大津市社会福祉協議会の職員	-
	病院スタッフ	1
事例 の 対象	一般	3
	アルコール	-
	思春期	-
	薬物依存	-
	発達障害	1
	パーソナリティ障害	-
その他	5	

(3) 家族教室、家族交流会事業（平成28年度は家族教室・家族交流会を合同で実施した。）

① 家族教室・家族交流会

目的：病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶ
 精神障害者をかかえる家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐことで、家族がゆとりをもって暮らすことができ、主体的に活動への参加ができる。
 対象：統合失調症の患者の家族で主治医に了承がとれ、継続して参加できる家族
 平成26年度までに「家族教室」へ参加した精神障害者を抱える家族（101家族）

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成28年6月22日 14:00～16:00	33人 (29家族)	障害福祉制度およびサービスの紹介、 家族交流	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎの職員
第2回	同年 9月1日 14:00～16:00	30人 (26家族)	講話：「統合失調症という病気について」 講師：大津心療内科クリニック 上田幹人医師 家族交流	
第3回	同年 11月9日 14:00～16:00	22人 (17家族)	講話：「病院の相談員の役割について」 講師：琵琶湖病院 精神保健福祉士 梶佳意子 家族交流	
第4回	同年 12月26日 14:00～16:00	26人 (22家族)	講話：「家族の関わり方について」 講師：京都ノートルダム女子大学 佐藤純 家族交流	
第5回	平成29年3月2日 14:00～16:00	22人 (19家族)	講話：「就労支援B型事業所『びあ☆らぼ』・ 家族会について」 講師：尾畑聡英 家族交流	

② ひきこもり家族交流会

目的：ひきこもりケースの家族を対象に学習会および家族交流を通じて
 ・ひきこもりの理解をする。
 ・日頃の対応を見直せるよう支援する。
 対象：思春期精神保健相談を利用し、医師の判定で精神疾患・障害が否定された15歳以上のひきこもりケースの家族。（31家族）

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成28年6月30日 14:00～16:00	11人 (10家族)	「『花きりん』について」 家族交流・意見交換 助言者 精神保健福祉士（花きりん）	保健予防課 やすらぎの職員
第2回	同年 8月31日 14:00～16:00		中止	
第3回	同年 12月12日 14:00～16:00	11人 (9家族)	「家族のコミュニケーションについて」 家族交流・意見交換 助言者 臨床心理士（ひきこもり支援センター）	
第4回	平成29年2月23日 14:00～16:00	8人 (8家族)	「ひきこもりと関連しやすい精神疾患について」 家族交流・意見交換 助言者 精神科医師（思春期相談担当）	
第5回	平成29年3月24日 14:00～16:00	8人 (7家族)	「ひきこもり当事者からのメッセージ」 家族交流・意見交換 助言者 仲間の会メンバー、臨床心理士（ひきこもり支援センター）	

(4) 精神保健福祉ボランティア連絡会

精神保健福祉関連の施設や地域でのサロンにおいて活動中のボランティアに対し、情報交換の場や学習の機会を設け、ボランティアの自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として実施している。精神保健ボランティア活動をされている11人に案内送付した。

今年度は、対象者を実際に活動されている方とした。

傾聴ボランティアの方が、精神疾患のある方への対応に戸惑いを感じておられたことから、その方々も対象とした。

日時：平成29年3月23日 9:30～12:00

場所：大津市保健所 1階 小会議室1

内容：研修「こころの病を持つ方への関わり方」

意見交換「地域でのボランティア活動について」

助言者：奥田由子

参加者：3名（対象者11名）

(5) 従事者研修会

① 大津市自殺対策研修会

日時：平成29年2月25日 10:00～12:00

講演：「自殺未遂者とどう出会うか～『生かす』を『生きる』につなげるために～」

講師：山田 素朋子 講師（神奈川県相模原市健康福祉局福祉部精神保健福祉課）

参加者：41人（医療機関19名、相談機関8名、大津市3名、滋賀県4名、他6名）

② 精神保健従事者研修会

日時：平成29年2月24日 14:00～16:00

講演：「大人の発達障害の理解とその対応」

講師：定本ゆきこ 講師（精神科医）

参加者：102人（医療機関6名、民児協44名、福祉事業所26名、大津市26名）

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

本法の基づく警察機関等からの通報等においては、精神障害者又はその疑いがある者について、ただちに入院をさせなければ精神的障害のために自身を傷つけ、又は他人を害するおそれがある場合、その者を指定医の診察を受けさせなければならないことから、当該通報等があった場合、本市は滋賀県への経由事務を行っている。

① 申請・通知状況

(単位：件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	43	2	45
	女	22	1	23
	計	65	3	68
申請・ 通報 状況	家族	-	-	-
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	1	1
	保健福祉医療関係者	1	1	2
	救急隊	-	-	-
	警察	48	1	49
	検察官	3	-	3
	矯正施設の長	13	-	13
	知事	-	-	-
計	65	3	68	

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請	通報				計
	22条	23条	24条	26条	26条の2	
実件数	2	49	3	13	1	68
調査件数	2	49	3	13	1	68
診察件数 (27条)	2	36	-	-	1	39
緊急措置入院数 (29条の2)	1	24	-	-	1	26

③ 診察状況

(単位：件)

区分	大津市	市外	計
要措置	25	1	26
措置不要	12	1	13
計	37	2	39

(7) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移

(単位：件)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28
滋賀県	24	56	55	76	63	63	54	59
大津市	6	15	16	23	23	22	23	26

② 入院状況

(単位：件)

区分	平成27年度末	本年度中増減		平成28年度末
		措置命令	措置解除	
男	1	17	12	5
女	1	9	4	5

(8) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	23	24	25	26	27	28
入院届	331	333	343	338	320	429
退院届	347	359	343	364	342	430
定期病状報告	183	181	171	166	151	228

(9) 自殺対策

本市へ保健所業務が移譲される前の滋賀県大津保健所において、平成18年度から20年度まで、自殺予防対策の一環として、3年計画でうつ予防対策事業の取組が行われた。

平成21年度からは地域自殺対策緊急強化基金補助金、平成27年度からは地域自殺対策強化交付金を活用し、自殺対策に取り組んでおり、平成28年度は下記の事業に取り組んだ。

事業名	内容
相談機関ネットワーク体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺対策連絡協議会 第1回（平成29年2月16日・保健所大会議室） 機関数：33機関、委員数：34人、出席者：28人 *自殺の現状の説明、「いのちをつなぐ相談員」派遣事業の検討、本課の自殺予防啓発に関する検討、自殺対策計画策定にあたっての概要説明と協力依頼、各機関の取り組みの紹介
大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・協力病院を受診した自殺未遂者への「いのちをつなぐ相談員」による支援 協力病院：大津赤十字病院、大津市民病院、滋賀医科大学医学部附属病院、JCHO 滋賀病院、琵琶湖大橋病院、大津赤十字滋賀病院 支援対象者：入院患者、外来初診・通院患者 支援対象者数：79人（今年度新規23人） 支援回数：2,068回（面接：290、訪問93、電話相談452、関係機関連絡1056、関係機関同行10、ケース会議81、その他86） ・大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業検討部会 第1回（平成28年6月9日・大津市保健所） 機関数：20機関、委員数：20人、出席者：17人 *個別事例の支援、事業の実施方法の検討 ・保健所での支援検討会：6回（6/15、8/17、10/24、12/21、2/15） ・協力病院での連絡会：3回（大津赤十字病院：10/13、大津市民病院：11/22、滋賀医科大学医学部附属病院：2/22）
人材養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺未遂者支援研修会 詳細は、7精神保健（5）従事者研修会に記載
普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間の啓発（平成28年3月1日～31日） 大津市内の大学・短期大学・看護学校への生徒約1000人に入浴剤と相談窓口一覧を配布 保健所に啓発のぼりを設置 ・自殺予防の啓発（7月4日～7月29日、指定難病更新時に啓発） 特定医療費（指定難病）更新申請の集中受付日に来所された方に、啓発ティッシュを約1,500人に配布 ・おおつ健康フェスティバルでの啓発（平成28年10月18日） 大津いのちまもり隊のまもるくんが自殺予防啓発メンタルチェック等を用いた啓発 参加者数：155人 ・市民のためのアルコール講座（平成28年12月10日） 参加者数：24名 講師：安東毅医師（水口病院・安東医院） 断酒会メンバーによる体験談 ・出前講座「心も元気に過ごしていますか？」 （ストレスチェック、うつ病、アルコールについて） 実施回数：3回、参加者数：37人

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況

(単位:件)

	件数
被爆者健康手帳交付者数	136
健康診断受診者証交付者数	8
医療特別手当受給者数	4
特別手当受給者数受給者数	4
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	93
保健手当受給者数	9
保健手当(増額分)	-
介護手当受給者数	-

② 被爆者健康手帳交付年次別推移

(単位:件)

年度	23	24	25	26	27	28
大津市	182	174	169	159	141	136
滋賀県	429	406	391	373	348	

(2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況 (単位:人)

	1回目	2回目	3回目
対象者数	147	148	145
受診者数	23	6	19
受診率	15.6%	4%	13.1%
要精検者数	6	2	1

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移

(単位:人)

年度	23	24	25	26	27	28
対象者数	186	182	173	165	154	140
申込者数	32	30	29	29	24	20
受診者数	30	29	28	27	24	19
要精検者数	7	10	8	13	11	3

(4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移 (単位:人)

年度	23	24	25	26	27	28
対象者数	78	82	81	87	83	94
申込者数	38	29	38	32	37	45

(5) アスベスト対策事業

アスベスト(石綿)による健康被害を受けられた方、または、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

申請者数	6人
------	----